

聖書の預言 確かなものですか (エドム編)

ペトラの発見

死海の真南70kmにあるヨルダンのペトラをご存知でしょうか。ペトラは今から200年以上前、スイス生まれの探検家によって発見されました。彼は岩に囲まれた細い道をたどっていくと、突然視界が開け、岩に彫り込まれた壮大な神殿や住居跡を発見したのです。

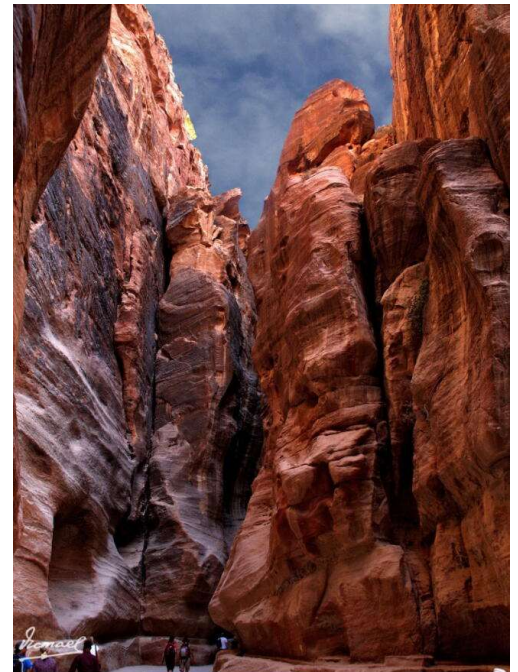
その感動した様子を容易に想像することが出来ます。

このような不毛の岩場に大勢の人が生活した痕跡を見いだすことが出来たのです。

ペトラは 映画 インディージョーンズの「最後の聖戦」の舞台になったことでも有名です。

今やヨルダンを代表する観光地となっていますが、彼らはどのような歴史を経験してきたのでしょうか。

また聖書とどのように結びついているのでしょうか。



細い道をたどっていくと・・・

聖書との関連

聖書の歴史をひもといていくと、アブラハムという人物に注目することが出来ます。

ご存知のように彼は神を崇拜し神に非常に喜ばれた偉大な人物でした。

独り子、イサクを神に捧げた人物としても知られています。

イサクには双子の息子がいました。

一人はヤコブと言ひ後にイスラエルとして知られる人物で、イスラエル人の始祖となりました。

もう一人が兄エサウで後にエドムとも言われ、エドム人の始祖となりました。

このエドム人が、ペトラに住みペトラを一大王国としていったのです。

そのことが聖書の中で次のように語られています。

「こうしてエサウはセイルの山地に住むようになった。エサウとはエドムのことである。」 創世記 36:8

ペトラもセイルの山地の一部であり、今見るような荒野ではなく、緑豊かな地であったと思われず。

エドムはイスラエルと兄弟国家でした。しかしエドムはイスラエルに敵対しイスラエルを憎んでいました。

イスラエルに災いが臨んだ時、エドムはイスラエ



ペトラはヨルダンの南方に位置する

ルにさらに災いが臨むことを欲しました。
そのことが次の言葉から理解できます。

「エホバ、思い出してください。エルサレム陥落の日にエドム人が言ったことを。「壊せ！土台までも壊してしまえ！」と」 詩編 137:7

そのような非情な態度は神を悲しませるものとなりました。

エドムに関する預言

預言者オバデヤはエドムに関して預言し、次のように語っています。

オバデヤの幻。
これは主権者である主エホバがエドムに関して言っていることである。
「私たちはエホバからの知らせを聞いた。
国々に使節が遣わされた。
『立ち上がれ。エドムとの戦いに備えよう』」。

2 「私はあなたを、国々の中で取るに足りない者とした。
あなたはひどく軽んじられる。

3 あなたは心のうぬぼれにより、欺かれた。
大岩を隠れがとし、高い所に住んでいる者、
『誰が私を地面に引きずり下ろせるだろうか』と心の中で言う者よ。

4 たとえあなたがワシのように自分のすみかを高くしたり、
巢を星の間に作ったりしても、
私はそこからあなたを引きずり下ろす」と、エホバは宣言する。

6 エサウは探し出された！
隠された宝は全て見つけ出された！

7 彼らはあなたを国境にまで追いやった。
あなたの同盟者は皆、あなたを裏切った。
あなたと平和な関係にあった人たちがあなたを打



眼前に今は廃墟になった都市の痕跡を見いだす



ち負かした。
あなたと共にパンを食べる人たちがあなたの下に網を仕掛ける。
あなたはそれに気付かない」。

8 エホバは宣言する。
「その日、私はエドムから賢人たちを滅ぼし、
エサウの山地から識別力を除き去る。

9 テマンよ、あなたの戦士たちはおびえる。
殺りくにより、一人一人がエサウの山地で倒されるからだ。

10 あなたは兄弟ヤコブに加えた暴力のゆえに恥で覆われる。
あなたは永久に消え去る。

11 あなたが離れて立っていた日、
よそ者たちが彼の兵士たちを捕虜にし、
外国人たちが彼の門をくぐり、エルサレムについてくじを引いた日、
あなたはその者たちの1人のように振る舞った。

12 あなたは、あなたの兄弟が不幸に見舞われる日に満足げに眺めるべきではない。
ユダの民が滅びていく日に喜ぶべきではない。
彼らの苦難の日に威張って話すべきではない。

13 私の民の災難の日に私の民の門に入ってくるべきではない。
彼の災難の日に彼の災いを満足げに眺めるべきではない。
彼の災難の日に彼の富に手を出すべきではない。

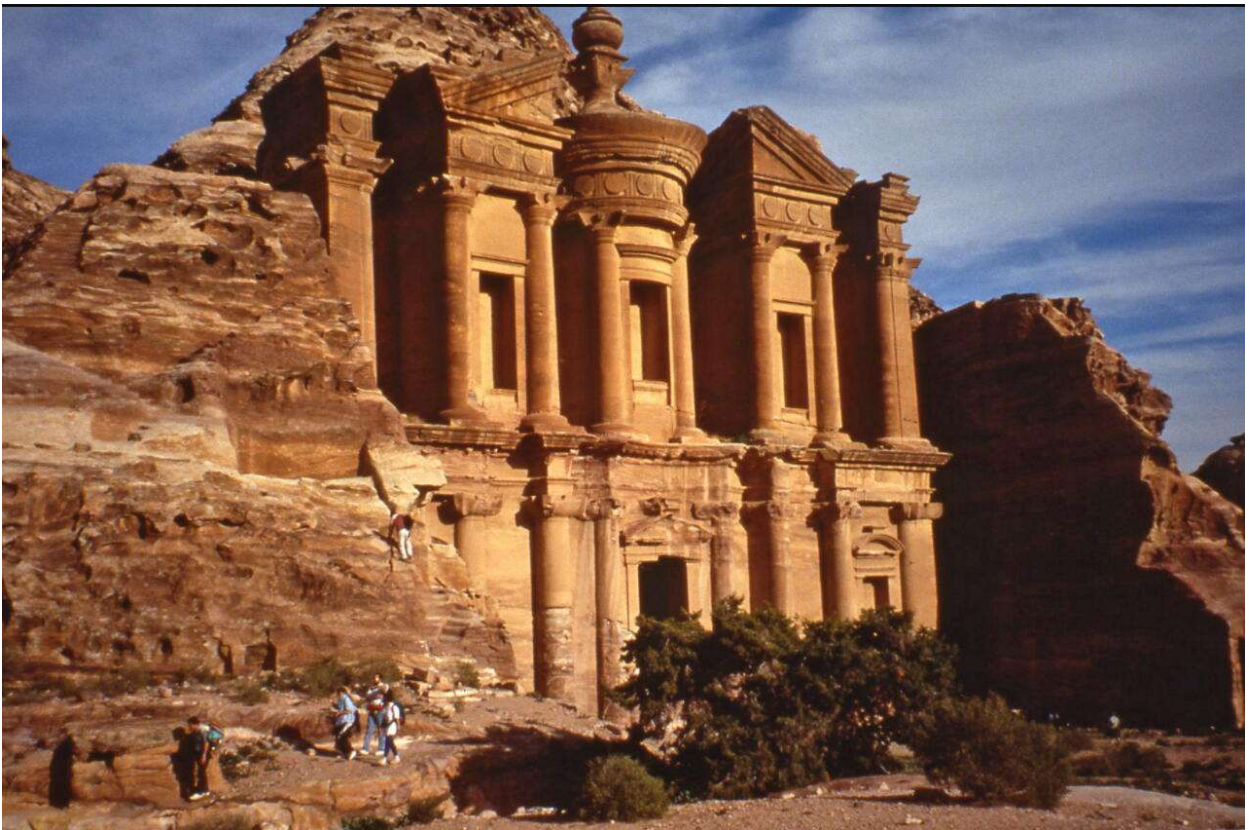
14 逃げる人たちを殺すために分かれ道に立つべきではない。
その苦難の日に、生き残った人たちを引き渡すべきではない。

15 あらゆる国の民に対するエホバの日が近いからだ。
あなたがしたのと同じことをあなたもされる。
あなたがしたのと同じ仕打ちが、あなたの身に降り掛かる。

18 ヤコブの子孫は火となり、
ヨセフの子孫は炎となる。
彼らはエサウの子孫をわらのように燃やし、焼き尽くす。
エサウの子孫は誰も生き残らない。



セイルの山々の一角にペトラがある



岩場に彫られた壮麗な建物からも進んだ文明を持っていたことがうかがえる
エドム人の後、ナバテア人が住み着き、いつしか緑が失われて荒野となり、
遂に放置されたようです。
そして長い長い眠りにつき今から200年前、眠りから起こされ、今やヨルダンの観光の柱となっています。

教訓

この事例は私たちにどのような教訓を与えるものとなっているのでしょうか。
それは「人の不幸を喜ぶべきではない」ことを教えています。

次のように書かれているとおりです。

あなたは、あなたの兄弟が不幸に見舞われる日に満足げに眺めるべきではない。
ユダの民が滅びていく日に喜ぶべきではない。
彼らの苦難の日に威張って話すべきではない。

今回は 最も重要な都市 エルサレムについて考察してみたいと思います。